



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 会談録 (日・琉球首脳、政府高官) (44・5・29愛知外相・星立法議院長   外務省外交史料館レファレンス番号 : H221331)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.1   公開日 : 平成22年12月22日   外務省外交史料館管理番号 : A'3.0.0.7-1(5)   CD・DVD番号 : H22-009
Issue Date	
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191</a>
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

44  
5  
29

夏知外相  
星立法院議長

大臣秘書官

*(Handwritten initials)*

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

*(Handwritten mark)*

沖縄立法院議長の来訪

昭44.5.29 米北1

沖縄立法院の星議長は、大城真順議員(何れも自民党)とともに5月29日正午過ぎ、訪米前の釜知外務

大臣を訪ねて激励の挨拶を行なった。(米北1電略同席)

星議長は大臣に対し立法院決議(註)に従い、

沖縄県民の気持を代表して自信と勇氣をもって自由陣営の立場から安保条約を堅持した上で沖縄

返還を実現するよう努力して欲しいと要望し、大臣は沖縄県民の気持をよく判っており激励に感謝する旨

述べた。星議長は過去二日間(何れも自民党)立法院内閣で与野党各党より一名づつの代表が上京して大臣を社行するよう

幹旋を試み、社会大衆党あたりは(これに)かなり同調し、

GA 6

外務省

いたのだが、結局この試みが成功しなかったことを説く

他方、4.28 沖縄デモ以来祖国復帰協議会が中心と

なつて5月28日には釜知大臣訪米阻止大会を開催する  
といふことにお膳立てをしてみたが自民党系の労働者連

のつき上げにより(これに)安保反対県民大会にすり変えられ、  
大臣訪米反対の立場をだせなくなったので安心(これに)した

述べた。

星議長はまた、復帰の日途が、いづれから復帰まで

の間に日本政府が一体化政策を推進して沖縄を他府  
県並みの水準になるようにして欲しいと、米国の交渉も

その方向で進んで欲しいと述べた。大臣はこれに対し  
政府としてもこの問題は十分認識しており、沖縄が本土

並みの完全な県となるよう、県政の実情に応じて較差を是正  
し、体制をこしらえるためには急ぐべきことが多々ある旨述べた。

GA 6

(註) 4月7日「沖縄の返還に際しての準備法」を閣議決定し、同日閣議  
「接付を返還基地の自由使用を認める」ようにする旨の閣議決定を  
している。